

うえきのうきょう

第52回通常総会資料

令和5年度事業報告書

令和6年度事業計画書

東京都植木農業協同組合



東京都小金井市貫井南町1丁目5番20号

電話 042-384-0255 FAX 042-384-0281

e-mail mail@jatokyo-ueki.or.jp URL <https://jatokyo-ueki.or.jp>

目 次

第52回通常総会 次第	1
第52回通常総会 会議の目的事項	2
令和5年度事業報告	3
貸借対照表	15
損益計算書	16
注記表	17
附属明細書	19
損失処理	22
監査報告書	23
令和6年度事業計画	24
役員退職慰労金の支給について	30
役員選任について	31

第 5 2 回 通 常 総 会 次 第

日時：令和6年10月25日（金）

午後3時00分から

場所：ホテルエミシア東京立川

- 1 開 会 の こと ば
- 2 組 合 長 挨 拶
- 3 議 長 選 出
- 4 書 記 指 名
- 5 議 案 の 審 議
監 査 報 告
- 6 閉 会 の こと ば

第52回通常総会 会議の目的事項

- 第1号議案** 令和5年度事業報告及び第52期損失金処理案の承認について
(提案理由)
令和5年度事業報告及び損失金を確定させるためご承認をお願いするものです。
(原案別項)
- 第2号議案** 令和6年度事業計画設定について
(提案理由)
令和6年度事業計画のご承認をお願いするものです。
(原案別項)
(附帯決議案)
年度途中において事業計画の一部変更（重大な変更を除く）を要する時は、理事会の決議により、これをなすことができる。
- 第3号議案** 令和6年度借入金の最高限度額決定について
(提案理由)
令和6年度借入金の最高限度額を確定するため提案いたします。
(原案) 最高限度額1億円とする。
- 第4号議案** 令和6年度理事及び監事の報酬等の額と決定方法について
(提案理由)
令和6年度理事及び監事の報酬等の総額を確定するため提案いたします。
(原案) (1) 令和6年度理事報酬額は、総額1,500万円とし各理事の報酬額については、その範囲内において理事会に一任する。
(2) 令和6年度監事報酬額は、総額15万円とし、各監事の報酬額については、その範囲内において監事会の協議に一任する。
- 第5号議案** 役員退職慰労金の支給について
(提案理由)
役員退任慰労金規程により、退職役員に対する慰労金支払額は80,548円とし、支払時期・方法等については理事会に一任する。
なお、退職役員の略歴は別項の通り。
- 第6号議案** 役員選任について
(提案理由)
(原案) 役員任期満了に伴い、定款第29条及び定款附属書役員選任規程第1条の規定により役員を選任を行う。
(候補者別項)

令和5年度事業報告書

(令和5年8月1日～令和6年7月31日)

1 事業活動の概況に関する事項

本年4月30日、34年ぶりに1ドル=160円台まで円安が進み、直後に154円台まで急騰するなど、東京外国為替市場で円相場が乱高下しました。

円安が進んでいる主な要因は、日本とアメリカの金利差にあります。日米両国とも、長期に渡り金融緩和政策をとってきましたが、アメリカが金融引き締めに変換し、日米の金利差が開いたことから円売りドル買いの動きが強まりました。

また、7月末から8月初旬にかけては、日経平均株価が歴史的な暴落となり、その後急上昇するなど金融市場は異常な事態となりました。その後、日米ともに株価は落ち着きを取り戻しつつありますが、依然、不透明感は拭えていません。

このような円安と株価下落という経済情勢の中、トヨタ自動車などのグローバル企業が過去最高益を記録する一方で、海外展開の無い中小企業では、輸入材料の高騰などでコロナ不況に引き続き厳しい状況となっています。

個人消費も4四半期連続での減少となり、ソフトウェアなどの非耐久財やサービス消費等に持ち直しの動きがみられるものの、データ偽装による自動車メーカーの出荷停止などを背景に、耐久財消費を中心に大幅減となりました。

J A東京植木の経済事業についても例外では無く、根巻材を中心に円安等の影響を受け、多くの購買品の値上げを余儀なくされました。そのような中で、(マキタなど都市部で)需要が好調な電動工具類の販売については、比較的安価で提供出来たことなどで売上を維持しました。販売部門の需要は、昨年来の傾向で、一部ハウスメーカーの主導によるカエデ類やアオダモ等の山取り樹種の引合いもありましたが、昨年の売り上げを大幅に下回りました。

指導部門は主力の委託苗木事業の他、昨年より供給量は減少したものの、五輪関連施設への材料供給が僅かながら続いています。花と緑の競争力強化支援事業については実施三年目を迎え、国立駅前の可搬式緑化ベンチ管理や供給可能量WEBサイトなどの助成申請に対して、4月24日に東京都の補助金交付決定がなされました。

2 主要事業活動の内容と成果

- ① 総務部門は、東京都花と緑の競争力強化支援事業が三年目を迎え、供給可能量WEBサイトをホームページで公開するなど、広報体制の充実を図りました。
- ② 指導事業は、主力の委託苗木事業の他、緑化関連施設への材料供給が続いており、少額ではあるものの、昨年同様、有明体操競技場改修事業への材料供給が予定されています。
- ③ 購買事業は、電動機械類などの販売に重点を置き、比較的安価で提供出来たことなどから、着実な実績をあげることが出来き、売上高は前年度比95%でした。
- ④ 販売事業は、芝生の販売が相変わらず堅調でしたが、その他の売り上げが振るわず、売上高は前年度比90.3%でした。
- ⑤ 市場部門は、雪のため休市があった他、出荷量の減少や価格の低下などで前年売上比85.3%に留まりました。

3 部門別事業報告

総務部門

(1) 組合員の要望に即応した情報の提供

広報誌を4回発行し、各種行事・研修会の案内・結果、購買品のPR、苗木の斡旋等を行いました。

第81号（10月）第51回通常総会開催・植木市場開催・秋の大市開催

第82号（1月）新年懇親会開催報告・購買品特売（機械類・除草剤）
・苗木の取り纏め

第83号（3月）東京都農業祭開催・技能講習会案内

第84号（5月）東京都農業祭結果・サービス月間・購買機械合同展示会開催

(2) 経済競争に勝ち残れる体制強化

昨年はベテラン職員1名の退職に伴い、業務体制の変更、（指導課・経済課を指導経済課に変更）適正を考えた人事異動を行いました。又職員会議を行い、職員間でさらなる連携を図り、効率的な業務遂行を行いました。

(3) 植木の普及

各市で開催される農業祭への審査員派遣要請に対し、役員の協力を得て12市22名を派遣しました。

東京樹木医会の協力を得て、毎週月曜日に相談日を設け、1日約4～5件ほど造園業者の方や、一般市民からの相談に対応していただきました。

指導部門

(1) 東京都農業祭53の開催

都内における植木の生産地維持および技術向上のため、また都民に対する都内産植木の生産状況の認知や理解・啓発のために実施しました。

期間：令和6年4月19日（金）～21日（日）

会場：調布市 神代植物公園臨時駐車場

出品点数：621点

期間売上：1,718,280円

概算来場者数：約800名

特別賞受賞者：農林水産大臣賞 ヤマボウシ株立 ブルーミングピンクテトラ
梅田富夫氏（立川市）

東京都知事賞 ハイビヤクシン 渡邊俊之氏（町田市）

他16点



(会場風景)



(農林水産大臣賞のヤマボウシ)

(2) 研修会・技能講習の実施について

例年実施していた視察研修については、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を見送りました。

技能講習については、小型移動式クレーンと玉掛けの講習を「コマツ教習所 東京センター」にて行い、8名の方が受講しました。

(3) 緑化用苗木の栽培管理委託（令和5年4月～令和6年3月）

東京都農林水産振興財団より受託し、受託圃場主とも連携を図りながら優良苗木の生産・供給に努めました。

本事業の「栽培管理の手引き」が8年ぶりに改訂され、その改訂作業にも協力しました。

直近3ヶ年の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本数（年度当初）	164,594本	134,487本	109,157本
受託者数	30名	27名	25名
新規受託本数	33,159本	36,987本	56,770本
出荷本数	49,761本	50,757本	50,925本



(4) 可搬式緑化ベンチを活用した都内産植木のPR

三か年計画で参画している東京都の事業「花と緑の競争力強化支援事業」も2年目となり、国立市（国立駅前）に設置した可搬式緑化ベンチでも3回目の植え替え作業を行い、都内産植木のPRに努めました。



購 買 部 門

(1) 品揃えの充実

品質の良い商品の陳列と品揃えに努めました。

また、今まで在庫にしていない商品でも注文の多くなった商品については在庫にし組合員のニーズに応えるようにしました。 マキタ充電式機械 やまびこ充電式機械

(2) 需要期における特売の実施

本年1月に農薬、ブロワ、チェーンソーを販売しました。

(ラウンドアップ5.5L、34本、ザクサ34本、プリグロックス1L、61本、ダイリーグ粒剤57袋、フォース粒剤5箱、バスタ4本、新ダイワチェーンソー2台、マキタハンディソー1台)

(3) 組合員サービス月間の実施

例年どおり6月1日から6月30日まで全組合員を対象にした購買品 10%引きの販売セールを実施いたしました。また、特別価格商品を数品目販売しました。

1割引対象売上金額16,728,775円

(昨年実績16,604,351円)

特別価格商品	カクイチ水道ホース	計5巻	売上金額16,500円
	ダイリーグ粒剤	計16箱	売上金額337,920円

(4) 各団体の共同購入への協力

共同購入が実施されている各団体に協力し良品を安価に提供しました。
府中市植木花卉生産組合、立川市農研会

(5) 売上金額

1億6千5百万円という目標に対して約9%上回る事ができました。

① 年間売上金額

179,030,570円（前年度比95%）

② 最近3ヶ年の総売上実績

令和3年度 171,799,017円

令和4年度 188,450,360円

令和5年度 179,030,570円

③ 年間品目別売上

第一位 ちから1号

2,958,750円（984袋）

第二位 ラウンドアップマックスロード5.5L

2,934,650円（244本）

第三位 わら縄2.5分

1,705,860円（1,213巻）

マキタ機械類（展示会売上3回分）13,803,700円

販 売 部 門

(1) 緑化植物供給可能量調査を活用した地産地消の推進

組合員の植木在庫の把握に努め、東京産植木の売り上げ向上に努めました。

(2) 苗木の売り払い

広報誌やホームページで、生産者に苗木の売り払いの希望を募り、組合員に良質の苗木を斡旋・販売しました。

売上実績

令和3年度 900,250円

令和4年度 572,950円

令和5年度 468,200円

(3) 東京都の栽培管理委託事業の一次苗木斡旋

今年度も指導部と連携しながら、東京産苗木を委託栽培事業に導入してもらうべく売り込みを行いました。

最近3カ年の一次委託苗木販売実績

令和3年度	6,066,770円
令和4年度	7,625,737円
令和5年度	11,713,876円

(4) 売上金額

1億6千万円の目標を立てましたが、残念ながら達成する事ができませんでした。

① 年間総売上金額

143,049,107円 (前年比90.3%)

② 最近3カ年の年間売上実績

令和3年度	150,963,039円
令和4年度	158,263,031円
令和5年度	143,049,107円

(5) 年間品目別売上

第一位 芝生

① 売上金額

37,127,360円 (前年比97.7%、総売上金額の25.9%)

② 内訳	高麗芝	43,525束	24,145,120円
	高麗芝ロール	11,941束	7,102,010円
	姫高麗芝	3,018束	1,788,530円
	姫高麗芝ロール	513束	349,350円
	野芝	3,703束	2,144,740円
	野芝ロール	2,481束	1,597,610円
	TM-9	418束	994,850円

第二位 オリーブ 506本
2,594,300円 (総売上金額の1.8%)

第三位 ソヨゴ 286本
2,533,700円 (総売上金額の1.7%)

第四位 常緑ヤマボウシ 306本
2,028,500円 (総売上金額の1.4%)

第五位 アオダモ 79本
1,914,300円 (総売上金額の1.3%)

参 考 (組合推奨樹種)

モミジ類	600本
1,389,650円	
オタフクナンテン	2,705本

1,492,500円

ヤブラン

7,066本

1,157,010円

市 場 部 門

(1) 市場参加の勧誘と宣伝

広報誌やホームページを利用して市場の情報を提供しました。

広報誌 開催情報掲載

ホームページ 毎回市況及び出荷状況の写真や動画の掲載

(2) 市場運営の活性化について

大市開催時（2回）に組合で販売している商品を粗品として参加者に配布、また売上上位者には順位に応じて商品を進呈し活性化に努めました。

セリを、ヤマ単価と一本単価で運営しておりましたが、一本単価のみに変更いたしました。

(3) 相対取引について

9月開催より相対取引を中止といたしました。

(4) 売上実績

17,167,799円

前年実績 20,133,436円

開催回数16回

開催回数17回

※2月は一回のみ（雪の為中止）

4. 事業の経過報告

年月日	名称	処理事項
令和5年8月22日	総務委員会	事業報告書及び事業計画書について他
8月22日	経済委員会	事業報告書及び事業計画書について他
8月30日	監事会	棚卸監査及び事業報告、決算監査
9月14日	第1回理事会	令和6年市場開催日について他
9月21日	第1回支部長会	役員推薦委員会
10月26日	第51回通常総会	於：ホテルエミシア東京立川
11月16日	第2回理事会	通常総会の結果、新年懇親会開催について他
11月24日	第2回支部長会	カレンダーの配布について他
令和6年1月16日	新年懇親会	於：大國魂神社結婚式場
1月25日	第3回理事会	青年部助成金申請について他
3月7日	第4回理事会	東京都農業祭53開催について他
3月14日	第3回支部長会	東京都農業祭53開催について他
4月20日～21日	東京都農業祭53	於：調布市神代植物公園第2駐車場
5月9日	第5回理事会	東京都農業祭53の結果について他
5月16日	第4回支部長会	東京都農業祭53の結果について他
7月4日	第6回理事会	第52回通常総会開催方法について他
7月11日	第5回支部長会	緑化植物供給可能量調査について他

5. 財務・事業成績の推移

(単位：円)

区分	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
財務	事業総利益	78,062,689	95,016,708	96,098,286	78,066,299
	経常利益	3,499,151	13,702,679	5,423,309	△10,456,980
	当期剰余金	2,048,251	11,875,779	3,773,409	△10,636,980
	総資産	182,112,325	229,963,700	195,771,687	183,311,674
	純資産	133,456,236	144,882,015	148,095,324	136,429,855
購買事業	購買品供給高	163,758,647	171,799,017	188,450,360	179,030,570
販売事業	販売品販売高	107,805,557	150,963,039	158,263,031	143,004,772

6. 組合の運営組織の状況に関する事項

(1) 総会の開催状況

① 通常総会

令和5年10月26日 開催

総会日現在正組合員数		478名
出席正組合員数	本人	55名
	代理人	0名
	書面	200名
	計	255名
重要な議事及び議決事項		
<p>第1号議案 令和4年度事業報告及び第51期剰余金処分案の承認について 令和4年度事業報告及び剰余金を確定させるためご承認をお願いする ものです。</p>		
<p>第2号議案 令和5年度事業計画設定について 令和5年度事業計画のご承認をお願いするものです。 附帯決議案 年度途中において事業計画の一部変更（重大な変更を 除く）を要する時は、理事会の決議により、これをな すことができる。</p>		
<p>第3号議案 令和5年度借入金の最高限度額決定について 令和5年度借入金の最高限度額を確定するため提案いたします。</p>		
<p>第4号議案 令和5年度理事及び監事の報酬等の額と決定方法について 令和5年度理事及び監事の報酬等の総額を確定するため提案いたし ます。</p>		
<p>第5号議案 定款の一部変更について 次年度の理事改選に伴い、定款の一部について所要の変更を行う ものである。</p>		

(2) 組合員の状況

①組合員数

(単位：人)

資格区分	前期末	当期加入	当期脱退					当期末	増減
			持分全部の譲渡	資格喪失	死亡又は解散	除名	合計		
正 個人	475	0	0	3	5		8	467	△ 8
組 法人 合 農事組合法人 員 その他の法人									0
	3							3	0
員 合計	478	0	0	3	5	0	8	470	△ 8
備 考	当期末正組合員戸数		470戸						
	当期末女性正組合員数		8人						

② 出資口数

(単位：口)

資格区分	前期末現在	当期増加	当期減少	当期末現在
正(准)組合員	4,726	5	94	4,637
摘要：	(1) 出資一口金額			10,000円
	(2) 当期末払込済出資総額			46,370,000円
	(3) 1正組合員当たり出資金額			88,958円
	(4) 1組合員の持口最高限度			99口

(3) 役員の氏名及び役職

①役員の数

(単位：人)

区分	前期末	当期就任	当期退任	当期末	定款に定める役員の定数
理事 (うち常勤)	24 (2)	0 (0)	0 (0)	24 (2)	24
監事 (うち常勤)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3
合計	27	0	0	27	27

②当期末現在の役員

(敬称略)

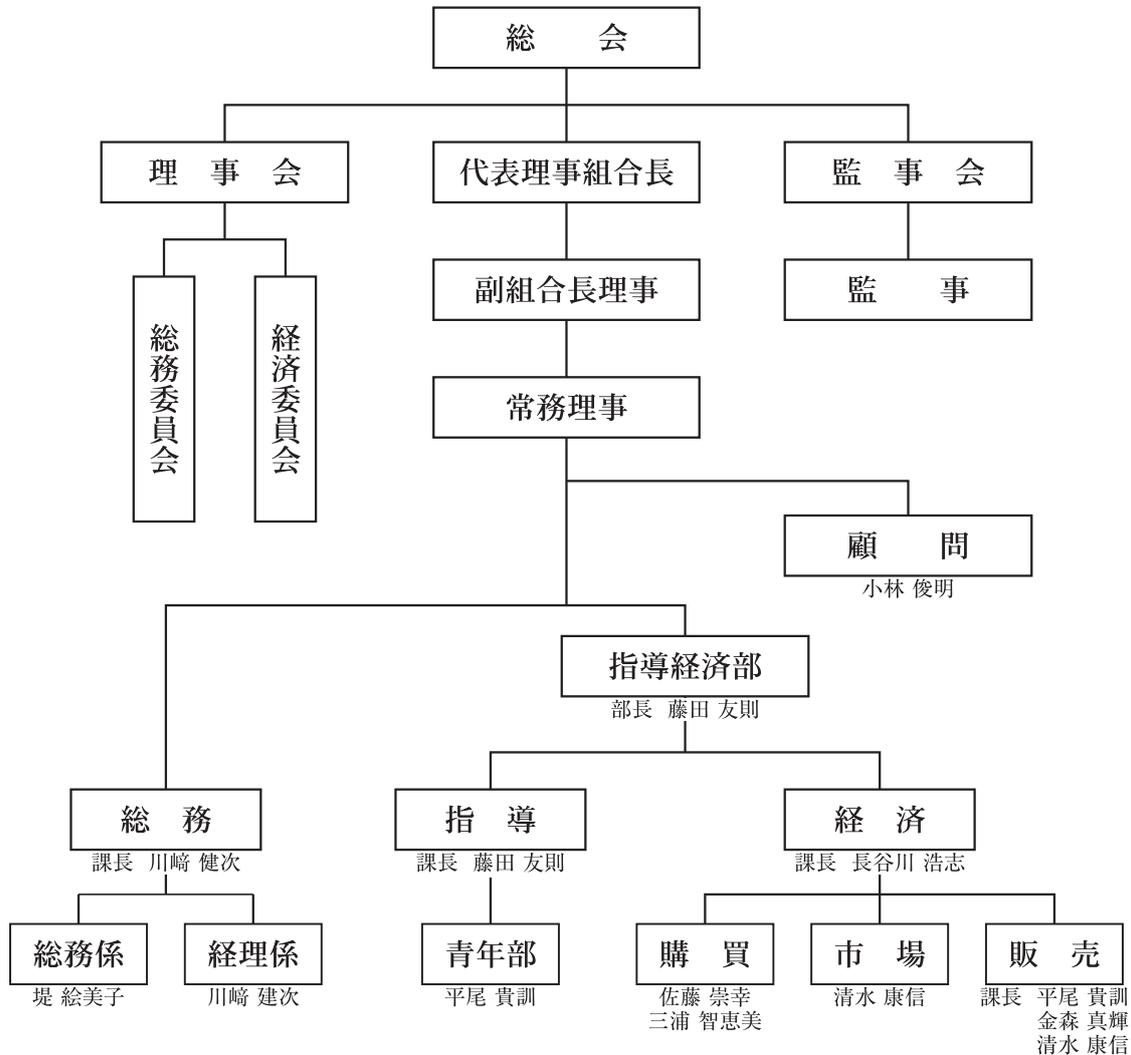
区 分		氏 名	就任年月日	任期満了 年月	摘 要	支 部 長	
役 職 名	常勤・非 常勤の別						代表権 の有無
代表理事組合長	常 勤	有	瀧 柳 嘉 市	平成6年9月26日	令和6年10月	調布・狛江	
副組合長理事	非常勤	無	鈴 木 敏 幸	平成18年10月20日	令和6年10月	町 田	
副組合長理事	非常勤	無	大 野 富 久	平成30年10月25日	令和6年10月	青 梅	須 田 智 之
副組合長理事	非常勤	無	宮 崎 栄 喜	令和3年10月26日	令和6年10月	立 川	
常務理事	常 勤	無	野 口 健 一	平成30年10月25日	令和6年10月	学 識	
理 事	非常勤	無	薬 袋 徳 行	令和3年10月26日	令和6年10月	昭 島	理 事 兼
理 事	非常勤	無	平 野 久 雄	令和4年10月25日	令和6年10月	あきる野	平 野 路 明
理 事	非常勤	無	小 俣 靖 史	令和3年10月26日	令和6年10月	清 瀬	理 事 兼
理 事	非常勤	無	村 越 昭 彦	令和3年10月26日	令和6年10月	小 金 井	井 上 清 久
理 事	非常勤	無	高 木 裕 之	令和3年10月26日	令和6年10月	小 平	高 橋 寿 一
理 事	非常勤	無	細 野 雅 人	令和3年10月26日	令和6年10月	国 分 寺	吉 野 栄 作
理 事	非常勤	無	尾 林 正 義	平成30年10月25日	令和6年10月	田 無	小 林 孝 幸
理 事	非常勤	無	土 方 貞 文	令和3年10月26日	令和6年10月	田 無	
理 事	非常勤	無	原 島 春 男	令和3年10月26日	令和6年10月	立 川	鳴 島 高 幸
理 事	非常勤	無	白 井 恭 男	令和3年10月26日	令和6年10月	調布・狛江	内 田 耕 一 郎
理 事	非常勤	無	内 田 進	平成30年10月25日	令和6年10月	八王子由木	理 事 兼
理 事	非常勤	無	吉 野 静 男	平成27年10月21日	令和6年10月	八王子犬目	理 事 兼
理 事	非常勤	無	根 本 喜 好	令和3年10月26日	令和6年10月	東久留米	
理 事	非常勤	無	丸 山 宙	令和3年10月26日	令和6年10月	東村山	角 田 憲 一
理 事	非常勤	無	内 堀 清 一	令和3年10月26日	令和6年10月	東大和	理 事 兼
理 事	非常勤	無	渡 邊 眞 孝	平成27年10月21日	令和6年10月	府 中	田 中 論
理 事	非常勤	無	宮 本 良 太 郎	令和3年10月26日	令和6年10月	町 田	田 中 一 生
理 事	非常勤	無	宍 戸 啓 次	令和3年10月26日	令和6年10月	三 鷹	小 林 義 明
理 事	非常勤	無	角 田 憲 一	令和3年10月26日	令和6年10月	青 年 部	
監 事	非常勤	無	田 中 誠 一	平成21年10月22日	令和6年10月	府 中	
監 事	非常勤	無	鈴 木 光 二	平成27年10月21日	令和6年10月	小 金 井	
監 事	非常勤	無	竹 内 政 行	令和3年10月26日	令和6年10月	三 鷹	

(4) 職員数の増減

(単位：人)

区 分	前 期 末			当 期 増 加			当 期 減 少			当 期 末		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一 般 職 員	8	0	8	0	0	0	1	0	1	7	0	7
計	8	0	8	0	0	0	1	0	1	7	0	7
うち常勤嘱託	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
非 常 勤 嘱 託	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
パートタイマー	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
契 約 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	9	3	12	0	0	0	1	0	1	8	3	11

(5) 組合の機構



(6) 施設の設置状況

種 別	名 称	構造及び面積等	所 在 地	摘 要
事務所・倉庫	本 店	プレハブ造ストレート葺79.33㎡	東京都小金井市貫井南町1丁目5番20号	
	合 計		1箇所	

貸借対照表

令和6年7月31日

(単位：円)

資 産 の 部			負債及び純資産の部			
科 目	金 額		科 目	金 額		
1 流動資産	175,116,534		1 負債	46,881,819		
(1) 現金	509,333		(1) 経済未払金	24,912,779		
(2) 預 金	102,946,882		(2) 雑 負 債	2,724,060		
(3) 経済未収金	26,583,944		未払法人税等	180,000		
(4) 貸倒引当金	△212,672		その他の 雑 負 債	2,544,060		
(5) 棚卸資産	28,533,768		(3) 諸引当金	19,244,980		
(6) 雑 資 産	16,755,279		退職給付 引 当 金	13,191,657		
			役員退職 慰勞引当金	6,053,323		
2 固定資産	7,905,140					
(1) 有形固定資産	7,905,139		2 組合員資本	136,429,855		
建 物	34,364,508		(1) 出 資 金	46,370,000		
その他の有 形固定資産	22,432,168		(2) 利益剰余金	90,059,855		
減価償却累計額	△48,891,537		利益準備金	35,950,000		
(2) 無形固定資産	1		その他の 利益剰余金	54,109,855		
3 外部出資	290,000					
系 統 出 資	270,000		特別積立金	64,000,000		
系 統 外 出 資	20,000		当期未処理 損 失 金	9,890,145		
資産の部合計	183,311,674		負債及び 純資産の部合計	183,311,674		

損益計算書

令和5年8月1日～令和6年7月31日

(単位：円)

科 目	金	額
1 事業総利益		78,066,299
(1) 事業収益	378,184,059	
指 導	53,933,929	
購 買	179,030,570	
販 売	143,004,772	
市 場	2,214,788	
(2) 事業費用	300,117,760	
指 導	51,488,508	
購 買	140,800,453	
販 売	105,513,210	
市 場	2,315,589	
2 事業管理費		91,008,193
(1) 人件費	67,544,520	
(2) 業務費	14,097,030	
(3) 諸税負担金	678,500	
(4) 施設費	8,412,182	
(5) 雑費	275,961	
事業損失		12,941,894
3 事業外収益		2,559,099
4 事業外費用		212,674
経常損失		10,595,469
税引前当期損失		10,595,469
法人税・住民税及び事業税		180,000
当期損失金		10,775,469
繰越剰余金		885,324
当期未処理損失金		9,890,145

第52期 注記表

(令和5年8月1日～令和6年7月31日)

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

購買品・販売品：最終仕入原価法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）を採用しています。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）は定額法。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸倒引当金は、税法繰入限度額に基づき、当期は租税特別措置法第57条の9により算定した金額を計上しています。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しています。なお、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

(3) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支給に備えて、役員退任慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しています。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 役員に対する金銭債権・債務

理事及び監事に対する金銭債権の総額

売掛金 991,077円

理事及び監事に対する金銭債務の総額

買掛金 271,700円

Ⅲ. 退職給付に関する注記

1. 退職給付に係る注記

(1) 採用している退職給付制度の概要

職員の退職給付にあてるため、退職給与規程に基づき、退職一時金制度を採用しています。また、この制度に加え、同規程に基づき退職給付の一部にあてるため一般財団法人全国農林漁業団体共済会による退職金共済制度に加入しており、退職金共済制度における当J Aの給付額12,859千円を控除したものを退職給付債務としています。なお、退職給付債務・退職給付費用の計算には、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

(2) 退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	11,306,658円
退職給付費用	1,884,999円
退職給付の支払額	0円
期末における退職給付引当金	13,191,657円

(3) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	13,191,657円
未積立退職給付債務	13,191,657円
退職給付引当金	13,191,657円

(4) 退職給付に関連する損益

勤務費用	1,884,999円
退職給付費用	1,884,999円

2. 特例業務負担金の将来見込額

人件費（うち法定福利費）には、厚生年金保険制度及び農林漁業団体職員共済組合制度の統合を図るための農林漁業団体職員共済組合法等を廃止する等の法律附則第57条に基づき、旧農林共済組合（存続組合）がおこなう特例年金等の業務に要する費用に充てるため拠出した**特例業務負担金570千円**を含めて計上しています。

なお、同組合より示された令和6年4月2日現在における、令和14年3月までの**特例業務負担金の将来見込額は、5,551千円**となっています。

第52期 附属明細書

令和5年8月1日～令和6年7月31日

1. 貸借対照表等の附属明細書

(1) 組合員資本の明細

(単位：円)

種 類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
出 資 金	47,260,000	50,000	940,000	46,370,000
利 益 剰 余 金	100,835,324	9,324,531	20,100,000	90,059,855
利益準備金	34,450,000	1,500,000	0	35,950,000
その他利益剰余金	66,385,324	7,824,531	20,100,000	54,109,855
農林年金対策積立金	8,300,000	0	8,300,000	0
特別積立金	53,700,000	10,300,000	0	64,000,000
当期末処分剰余金	4,385,324	△2,475,469	11,800,000	△9,890,145
合 計	148,095,324	9,374,531	21,040,000	136,429,855

(2) 有形固定資産の明細

(単位：円、%)

種 類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	当期償却額	減価償却累計額	償却累計率
建 物	34,364,508	0	0	34,364,508	392,857	27,882,359	81.14%
〔うち建物付属設備〕	1,901,648	0	0	1,901,648	30,985	1,901,645	100.00%
構 築 物	4,116,550	0	0	4,116,550	43,501	3,843,498	93.37%
車 両 運 搬 具	16,977,714	0	3,203,380	13,774,334	289,799	13,774,325	100.00%
器 具 備 品	4,541,284	0	0	4,541,284	342,075	3,391,355	74.68%
合 計	60,000,056	0	3,203,380	56,796,676	1,068,232	48,891,537	

(3) 無形固定資産の明細

(単位：円)

種 類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	当期償却額
ソフトウェア	237,984	0	237,983	1	237,983

(4) 外部出資の明細

(単位：円)

出 資 先	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
系統出資				
東京都信用農業協同組合連合会	70,000	0	0	70,000
全国農業協同組合連合会	200,000	0	0	200,000
計	270,000	0	0	270,000
系統外				
東京都農業信用基金協会	20,000	0	0	20,000
計	20,000	0	0	20,000
合 計	290,000	0	0	290,000

(5) 引当金等の明細

(単位：円)

種 類	当期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
貸 倒 引 当 金	230,027	212,672	0	230,027	212,672
退 職 給 付 引 当 金	11,306,658	1,884,999	0	0	13,191,657
役員退職慰労引当金	5,113,324	939,999	0	0	6,053,323
計	16,650,009	3,037,670	0	230,027	19,457,652
備 考	(注1) 計上の理由及び額の算定方法については注記表の引当金の計上基準を参照して下さい。 (注2) 貸倒引当金の当期減少額のうち、その他は、洗替による戻入れ額によるものです。				

(6) 役員との間の取引の明細

(単位：円)

役職等	取引内容及び金額			摘要
	取引の種類	取引	金額	
理事24名 ・ 監事3名	売掛金	当期取引額	11,402,800	
		当期首残高	1,097,498	
		当期末残高	991,077	
		当期増減(△)額	△106,421	
	買掛金	当期取引額	3,225,541	
		当期首残高	207,130	
		当期末残高	271,700	
		当期増減(△)額	64,570	

(7) 事業管理費の明細

(単位：円)

損益計算書科目	内訳科目	金額
人件費	役員報酬	13,487,240
	給料手当	40,557,962
	法定福利費	7,609,068
	厚生費	3,065,252
	退職給付費用	1,884,999
	役員退職慰労引当金繰入	939,999
	役員退職慰労金	0
	小計	67,544,520
業務費	会議費	876,480
	接待交際費	674,478
	通信運搬費	1,804,384
	車輜維持費	1,548,570
	消耗品費	384,242
	印刷費	2,066,634
	図書費	28,620
	研修費	0
	宣伝広告費	172,346
	リース料	5,415,813
	旅費	1,125,463
小計	14,097,030	
諸税負担金	租税公課	288,500
	支払賦課金	0
	分担金	390,000
	小計	678,500
施設費	減価償却費	1,306,215
	修繕費	29,916
	保険料	485,510
	水道光熱費	752,968
	賃借料	5,140,000
	消耗備品費	697,573
	小計	8,412,182
その他の管理費用	雑費	275,961
合 計	91,008,193	

(8) 事業別の明細

①購買事業

(単位：千円)

種 類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 (A)	163,758	171,799	188,450	179,030
費 用 (B)	122,259	128,596	142,092	140,800
事業利益(A-B)	41,499	43,203	46,358	38,230

②販売事業

(単位：千円)

種 類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 (A)	107,805	150,963	158,263	143,004
費 用 (B)	78,115	103,497	110,075	105,513
事業利益(A-B)	29,690	47,466	48,188	37,491

③植木市場

(単位：千円)

種 類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 (A)	2,849	2,600	2,538	2,214
費 用 (B)	1,676	2,016	2,383	2,315
事業利益(A) - (B)	1,173	584	155	△ 100

市場関係収支明細

(単位：円)

	収 入	支 出	備 考
取 扱 手 数 料	1,905,728		
会 場 利 用 料			
登 録 料	309,060		68名×4,545円
開 設 費 用		98,989	参加者景品代他
賃 借 料		2,216,600	施設使用料
会 場 管 理 料			
計	2,214,788	2,315,589	
差引純利益			△ 100,801

④グリーン共済(令和4年11月～令和5年10月)

(単位：円)

科 目	収 入	支 出
保険料徴収額(加入者)	952,560	
保険料支払い(保険会社)		921,896
預 金 利 息	2	
合 計	952,562	921,896
収入額-支出額(次年度繰越金)		30,666

2. 事業報告の附属明細書

(1) 役員に対する報酬等の明細

(単位：円)

区 分	当期中の報酬等支払額	総会で定められた報酬等限度額
理 事	13,337,240	15,000,000
監 事	150,000	150,000
合 計	13,487,240	15,150,000

損 失 処 理

(第52期)

(単位：円)

科 目	金 額
1 当期末処分損失金	9,890,145
2 損失処理額	9,890,145
(1) 任意積立金取崩額	
特別積立金取崩額	9,890,145
3 次期繰越損失金	0

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年8月1日から令和6年7月31日までの第52期事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その結果につき以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、J A 監事監査基準に準拠し、監査の方針、監査計画、監査の方法、監査業務の分担等を定め、理事、内部監査部門、その他使用人及びその他監事が適切に職務を遂行するに当たり必要と判断した者等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、事業報告、貸借対照表、損益計算書、注記表、剰余金処分案及び附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、損益計算書、注記表及びこれらの附属明細書は、組合の財産及び損益状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、組合の財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません
- (4) 事業報告書及び附属明細書は、法令及び定款に従い組合の状況を正しく示しているものと認められます。
- (5) 理事の職務遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません

令和6年10月25日

東京都植木農業協同組合

代表監事 田 中 誠 一 ⑩

監 事 鈴 木 光 二 ⑩

監 事 竹 内 政 行 ⑩

令和6年度事業計画（案）

（令和6年8月1日～令和7年7月31日）

1 基本方針

本年1月1日、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、震度7の激しい揺れを観測しました。この震災によって犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、今後予想されている南海トラフを始めとする巨大地震への備えの重要性を、改めて考えさせられました。

さらに、自然災害といえば、今夏の異常な暑さについても、もはや災害レベルにあり、熱中症で連日多くの方が病院に搬送されました。そんな折、科学雑誌の「サイエンス」に、気温の上昇に伴い、ストレスを受けた植物が光合成を停止し、二酸化炭素の放出源に転じるというショッキングな記事が掲載されました。

技術革新によって、排気ガス中の有害物質を除去する技術が進んでいますが、都市部における大気汚染は中々減らず、大気中の粒子状物質（PM）やオゾンレベルは2010年から横ばいが続いているようです。このPMやオゾンレベル悪化の一因となっているのが揮発性有機化合物（VOC）であり、植物由来のテルペノイドがその主因であるということがわかってきました。

植物が空气中に放出する化学物質は、害虫や水不足、そして高温などのストレスによって変化するとされ、このVOCが排気ガスに含まれる窒素酸化物と反応してPMやオゾンの発生原因になるという訳です。

しかしながら、「植物が二酸化炭素を吸収する側から排出する側にもなる」という現象だけを捉えて、植物の効能を全否定するような論調に与することは出来ません。

自然は常に相互作用によって成り立っています。大気組成の大原則である光合成は揺るぎなく、生物にとってかけがえのないものです。ゆえにテルペノイドのようなVOCがすべて悪いのではなく、様々な方途で窒素酸化物と反応させない状態を醸成し、PMやオゾンレベルの悪化を食い止めることが重要なのではないかと考えます。

J A東京植木では、「東京にもっとみどりを」増やし、自然に親和的な社会の創造を目指して参りました。この方向性は今後も変わることはありません。

本年度も組合員とともに、都市緑化の中心を担う自負と覚悟をもって、事業を進めて参ります。

2 当組合の主要な事業運営について

- ① 総務部門については、供給可能量WEBサイトを充実させることで、広報体制の強化を図ってまいります。
- ② 指導部門については、例年通り東京都委託苗木事業の推進機関として、受託者の圃場栽培管理指導を行い、優良苗木の生産・供給に努めてまいります。
- ③ 購買部門については、原材料費高騰が続く中、特売などを通じ組合員への、より安価な資材提供に努め、組合の主力事業として、取扱量の拡大を図ってまいります。
- ④ 販売部門については、落ち込んだ売上を回復するため、顧客ニーズの把握とともに、組合員と連携した出荷体制確立の働きかけを行ってまいります。
- ⑤ 市場部門については、出荷者・買参人の要望を積極的に取り入れながら、市場活性化に繋げてまいります。

3 部門別事業計画

総務部門

(1) 組合員の要望に即応した情報の提供

ホームページ・広報誌の充実により組合員に対して経済状況・各種研修会・特売品・新商品・市場開催・植木生産に係る最新情報を素早く提供できるよう努めます。

広報誌の発行予定月 10月・12月・1月・3月・5月

その他、必要に応じて組合員への周知を行います。

(2) 売上状況の活性化

職員会議・研修会を頻繁に行い、職員の商品知識の向上、職場内の連携を図り、組合員の要望に即応できる体制をつくり、組合員へのサービスの向上、利用者のニーズに即応した体制作りを目指します。

(3) 植木の普及

供給可能量WEBサイトの集計結果を活用して、引き続き東京都の緑化工事に東京都産の植木を使ってもらえるよう働きかけをまいります。

各市農業祭への審査員派遣や、東京都樹木医会による樹木相談など、啓発活動や情報提供を図ります。

指導部門

(1) 東京都農業祭54の開催

都内における植木生産地の維持および技術向上の為、また都民に対する都内産植木の生産状況の認知や理解、啓発のために実施します。

J A東京中央会と連携しながら、ご家族連れや若い方たちにもご来場いただけるよう努めてまいります。

(2) 緑化用苗木の栽培管理委託

東京都農林水産振興財団より受託し、受託圃場主との連携を図りながら優良苗木の生産・供給に努めてまいります。

近年は本事業における受託者数が減少傾向にあるが、今年度より市街化調整区域内の圃場でも受託できるようになった事など受託条件も緩和された事もあるため、新たな受託者の募集にも努めてまいります。

(3) 可搬式緑化ベンチを活用した都内産植物のPR

一昨年度既に可搬式緑化ベンチを設置した国立市をはじめ、東京都や区市町村または民間団体等と連携して、可搬式緑化ベンチの設置を通じた都内産植物のPRを進めてまいります。

購 買 部 門

(1) 組合員のニーズにあった品揃え及び価格の適正化

量販店等の販売及び価格の調査に努めます。

仕入れ単価が安くなるように努力し、商品を安く販売できるように努めます。

(2) 需要期における特売の実施

季節に応じた商品を広報誌でPRし、特売を実施いたします。

例 冬 農薬 等

夏 機械 等

(3) 組合員サービス月間の実施

例年どおり6月1日から6月30日まで全組合員を対象にした購買品10%引きの販売セールを実施いたします。

また特別価格商品を数品目販売いたします。

(4) 各団体の共同購入への協力

共同購入が実施されている各団体に協力し、良品を安価に提供いたします。共同購入を実施予定または検討している組合・団体等ありましたら組合にご相談ください。

(5) 売上目標

1億8千万円 前年実績 1億7千9百万円

販 売 部 門

(1) 緑化植物供給可能量調査を活用した地産地消の推進

供給可能量WEBサイトを活用しながら、組合員の生産圃場把握に努め、販売体制を確立してまいります。

(2) 苗木の売り払い

植木生産者に苗木の売り払いの希望を募り、組合員への良質な苗木の斡旋を行います。

(3) 東京都の栽培管理委託事業の苗木斡旋

指導部と協働して、東京都の委託苗木事業に東京産植木を導入してもらえるよう、働きかけてまいります。

(4) 販売体制の充実

配達や引取業務の途中で営業等に努め、組合員のニーズを把握し、注文等への対応に努めてまいります。

(5) 売上目標

1億5千万円

前年実績 1億4千3百万円

市 場 部 門

(1) 市場参加の勧誘と宣伝

広報誌やホームページ・SNSを活用して市場の情報を提供します。

(2) 市場の活性化

出荷者・買参人に積極的に情報交換し、両者のニーズに会うように目指します。
購買や販売と連携をし、市場の活性化に努めます。

(3) 春の大市の時期について

4月は落葉樹の芽が動き出すので早く（開催）して欲しい、との声が多いので1ヶ月前倒しして3月に開催いたします。

(4) 売上目標

25,000,000円

前年実績 17,167,799円

開催回数（予定） 17回

開催回数 16回

※2月一回のみ（雪の為中止）

令和7年 植木市場開催日

2025

- ・開催時間 午後1時～
- ・春の大手 3月4日
- ・秋の大手 10月21日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1火曜日	7 休	4	4 大手	1	6 休	3	1 休	5 休	2 休	7	4 火曜のみ	2
第2火曜日	14 休	11 休	11 休	8 休	13	10 休	8 休	12 休	9 休	14 休	11 休	9 休
第3火曜日	21	18	18	15 休	20	17	15 休	19 休	16 火曜のみ	21 大手	18	16
第4火曜日	28 休	25 休	25 休	22 休	27 休	24 休	22 休	26 休	23 休	28 休	25 休	23 休
第5火曜日				29 休			29 休					30 休

令和6年度総合収支計画

令和6年8月1日～令和7年7月31日

(単位：円)

項 目		前年度実績	本年度目標	
収 入	指 導 事 業	53,933,929	42,000,000	
	購 買 事 業	179,030,570	180,000,000	
	販 売 事 業	143,004,772	150,000,000	
	植 木 市 場	2,214,788	2,500,000	
	小 計 (1)	378,184,059	374,500,000	
支 出	事 業 費 用	指 導 事 業	51,488,508	40,000,000
		購 買 事 業	140,800,453	135,000,000
		販 売 事 業	105,513,210	104,000,000
		植 木 市 場	2,315,589	2,300,000
		小 計 (2)	300,117,760	281,300,000
	事 業 管 理 費	人 件 費	67,544,520	68,000,000
		業 務 費	14,097,030	14,000,000
		諸 税 負 担 金	678,500	650,000
		施 設 費	8,412,182	9,500,000
		雑 費 他	275,961	250,000
	小 計 (3)	91,008,193	92,400,000	
	事 業 外 収 益	2,559,099	2,000,000	
	事 業 外 費 用	44,185	200,000	
	小 計 (4)	2,514,914	1,800,000	
経常利益 (1 - 2 - 3 + 4)		△ 10,426,980	2,600,000	

役員退職慰労金の支給について

1. 退職監事の略歴

(敬称略)

氏名	就任年月日	略歴
田中誠一	平成21年10月就任	非常勤監事
		現在に至る

(敬称略)

氏名	就任年月日	略歴
鈴木光二	平成27年10月就任	非常勤監事
		現在に至る

役員選任について

役員候補者名簿（案）

令和6年度～令和8年度

理事 19名

(敬称略)

支部（地区）名	候補者名	支部（地区）名	候補者名
昭島 あきる野	オオノ ショウゴ 大野 省吾	八王子	タカハシ ユキオ 高橋 幸雄
		東久留米	ノザキ タカユキ 野崎 隆之
青梅	オオノ トムヒサ 大野 富久	東村山	マルヤマ ヒロシ 丸山 宙
清瀬	マツムラ カズオ 松村 一夫	武蔵村山 東大和	ヒルマ タカアキ 比留間 孝明
小金井	スギヤマ カオル 杉山 薫		
小平	フジモリ ヒデアキ 藤森 英明	府中	ハラダ カツヒコ 原田 勝彦
国分寺	ホノノ マサト 細野 雅人	町田	ミヤモト リョウタロウ 宮本 良太郎
田無	ヒジカタ サダフミ 土方 貞文		スズキ トシユキ 鈴木 敏幸
立川	シンドウ フジオ 新藤 富士雄	三鷹	コバヤシ ヨシアキ 小林 義明
	ミヤザキ エイキ 宮崎 栄喜	学識経験者	ノグチ ケンイチ 野口 健一
調布 江	オスズ ヒロ彦 小津 浩彦		

監事 3名

(敬称略)

支部（地区）名	候補者名
府中	ワタナベ マサタカ 渡邊 眞孝
調布	タキヤナギ カイチ 瀧 柳 嘉市
三鷹	タケウチ マサユキ 竹内 政行

三役 4名

役職	支部（地区）名	お名前
代表理事組合長		
副組合長理事		
副組合長理事		
常務理事		

三役については、第6号議案終了後、臨時理事会開催、決定後報告

東京都植木農協青年部事業計画

令和6年度青年部事業計画（案）は、下記のとおりです。

記

- 1 定例幹事会の開催
- 2 植木生産地の視察交流及び造園施設等の見学
- 3 組合が実施する講演会、講習会に協力、参加する。
- 4 東京都農業祭54（植木部門）へ積極的に協力、参加する。
- 5 東京都農林水産振興財団が実施する事業に協力、参加する。
- 6 会員の親睦を図る事業を企画、実施する。
- 7 その他達成上必要と認められる事項について、企画、実施する。

支 部 名	部 員 数
青 梅	1名
あ き る 野	1名
小 平	1名
国 分 寺	9名
立 川	20名
西 東 京	6名
東 村 山	4名
三 鷹	12名

令和5年11月現在 54名